

令和6年度 学校経営全体計画

米沢市立万世小学校

1 基本的態度

学校の役割は、家庭や地域と連携を図り、未来を生きる子どもたちを育成することです。そして、子どもの豊かな人間性を育み、課題解決に必要な知識・技能や思考力・判断力・表現力等を育て、持続可能な社会の担い手として必要なたくましい心と体を養うことです。予測困難な時代を自らから考え判断しての将来たくましく生きていくために、本校は、子どもたちの「自立」を支援し、「ありのままを認めて育てる」を基本姿勢として、一人一人の成長に尽力していきます。



2 学校教育目標 「自ら未来を切りひらき、たくましく生きる子ども」

- (1) 今年度の重点
- 一歩ふみだす力（主体性）
 - チーム力（協働・対話）
 - あきらめず考えぬく力（解決・創造）
- ※全ての教育活動で培う「資質・能力」3つの力

- (2) めざす子ども像 「やさしく、かしこく、たくましい子ども」
- すすんで学ぶ子ども
 - 思いやりのある子ども
 - 表現豊かに生きぬく子ども

- (3) めざす学校像
- 子どもが 「楽しい学校」
 - 保護者や地域から 「信頼される学校」
 - 教職員が 「やりがいのある学校」

3 経営の方針

中教審の「令和の日本型学校教育」の答申や学習指導要領、第6次山形県教育振興計画後期計画、米沢市教育振興基本計画を踏まえ、「一歩ふみだす力」「チーム力」「あきらめず考えぬく力」の3つの資質・能力の育成を中心に、特色ある教育活動の推進と教員の指導力向上に取り組み、調和のとれた人間性と表現力豊かな子どもの育成を目指し、信頼される学校づくりに努める。

4 今年度の柱

(1) 「主体的・対話的で深い学び」による学習

- ①進んで考え、話し合い、表現する探究型学習の推進
- ②各教科の見方・考え方（特有の物事を捉える視点や考え方）の重視
- ③個人総合探求学習（フリースタイル学習）の推進

(2) 豊かな心の育成

- ①思いやりのある温かい学校・学級
- ②道徳教育と読書活動の充実
- ③児童の主体的活動の育成（あいさつ運動を通して）

(3) 持続可能な社会の担い手の育成

- ①基本的な生活リズムの確立
- ②米沢市体づくりプロジェクトの推進と健康安全指導
- ③新聞を活用した取り組み（R6よりNIEを導入）を推進する。

(4) 特別支援教育等の充実

- ①いじめ・不登校問題の未然防止と早期発見及び早期対応と確実な解決
- ②特別支援教育・教育相談に係る組織的な支援体制
- ③ユニバーサルデザインの視点を活かした学級づくり、ICTの活用

(5) 創意ある教育課程の編成

- ①学校教育目標を踏まえた学校課題への対応と学校評価の充実
- ②各支援部と連携したカリキュラムマネジメントの実現とPDCAサイクル
- ③内外の人的資源を活用した特色ある教育課程（コミセン・地域各種団体との連携）の編成

(6) 郷土愛を育む体験活動の充実

- ①「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたPTA・地域活動の連携協働
- ②家庭や地域への積極的な情報公開と説明責任の遂行
- ③万世の「ふるさと学習」の推進、地域行事等への積極的参加

(7) 教員の資質能力を育む研修

- ①教員同士の日常的・協働的な教材研究と授業改善
- ②担任力の向上を目指したOJTと教員評価の充実
- ③高学年の教科担任制に伴う働き方改革の推進

5 具体的な取組

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	そよ1	そよ2	合 計
男 子	20	12	11	18	21	13	2	1	98
女 子	21	13	14	16	21	15	0	0	90
合 計	31	25	25	34	42	28	2	1	188
学級数	1	1	1	1	2	1	1	1	9

(1) 「主体的・対話的で深い学び」による学習

- ①授業改善と同時に、個人総合探究等の主体的に学ぶ仕組みの構築
- ②高学年の教科担任制の継続。
- ③教科担任マイスターを導入し、指導力の向上と、児童の学習内容の理解度の向上。

(2) 特別支援教育の理解を深め、個に応じた支援を促す。

- ①米沢市教育支援センターの先生をアドバイザーとして研修を進める。
- ②個別の教育支援計画の作成し、保護者との連携を強化していく。
- ③SEL、SGEやピアサポート体制を積極的に導入し、計画的に実施する。
- ④UDやICT活用の推進

(3) 七中学区合同研修会を通して3校合同の共通の実践を進める。

- ①七中学区合同研修会を7月1日（月）に実施予定。
- ②七中合唱コンクールの参観、3校の校内研を通じた交流と実践等。
- ③エリアSCの活用

(4) 年間行事を通して

- ①地域学習やボランティア活動を積極的に取り入れた教育活動を展開し、郷土愛やSDGsの考え方を醸成していく。
- ②PTA事業部とタイアップした校内外の環境整備、プール清掃、事業部や地域の各種団体とタイアップした朝の挨拶運動（6月と10月）には教職員も参加する。

(5) 日課について

- ①時計を見て行動できる子どもを育てるとともに、子ども主体の活動を促す。また児童主体の児童会活動を推進していく。
- ②水曜日の定時退校を促進する。水曜日は原則PTAなどの夜の会合を持たない。
- ③昼休憩を導入し、児童がゆとりを持ち主体的に活動する時間を確保する。

(6) その他

- ①PTAの学年行事等は、原則、平日開催とする。
 - ・親子で文化や教養を高める内容のものや、各教科のねらいに沿ったものとする。
- ②万世コミセンと連携した学年行事、校外活動
 - ・5月2日（木）万世地区校外学習の実施
 - ・10月2日（金）5年生 万世大路見学
- ③地区運動会、体協やコミセン主催の各種行事への積極的な参加を促す。

自ら未来を切りひらき、たくましく生きる子ども

一歩ふみだす力（主体性）

チーム力（協働・対話）

あきらめず考えぬく力（解決・創造）

全ての教育活動で培う
「資質・能力」3つの力

学校・家庭・地域と共に、同じゴールを目指す

めざす子どもの姿

- すすんで学ぶ子ども
- 思いやりのある子ども
- 表現豊かに生きぬく子ども

めざす学校の姿

子どもが「楽しい学校」
保護者や地域から「信頼される学校」
教職員が「やりがいのある学校」

重点1
日々の授業改善

重点2 児童主体の活動
(児童会活動・たてわり班活動)

重点3
ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)の実施

重点4
教科担任制による授業

重点5
地域と共に行う教育活動の充実